

令和7年
第107号

大鉄協

2月20日
発行ホームページでも
ご覧いただけます大阪鉄螺卸商協同組合
<http://www.daibyokyo.com>

「子供の頃を思い出し」

西村 愛

- ◇「年頭所感」吉村洋文 大阪府知事 … 2~3
- ◇「年頭所感」和田 正 理事長 ……………… 3
- ◇「令和7年新年互礼会」を開催 ……………… 4
- ◇組合だより ……………… 4~5
- ◇已年生まれ経営者アンケート ……………… 5~6
- ◇委員会だより ……………… 7~8
- ◇支部だより ……………… 9~10
- ◇随想投稿欄 ……………… 11~12・16
 (山田尚賢、小林 敬、伊藤訓浩)
 (竹倉果林、村井正大)
- ◇趣味のページ ……………… 13~15
- ◇OS会の頁 ……………… 17~18
 (藤本翔平、池田 淳、川原陽平)

- ◇工場見学会を実施 ……………… 18~19
- ◇FE図面セミナー開講 ……………… 20
- ◇第6回「FE検定」を実施 ……………… 20
- ◇FEジュニアセミナー開講 ……………… 21
- ◇FEセミナー加工体験コース開講 ……………… 21
- ◇第10回 合同ハイキング ……………… 22
- ◇第14回 テニス大会 ……………… 22
- ◇第73回 野球大会決勝戦 ……………… 23
- ◇令和6年 忘年会を開催 ……………… 23
- ◇シリーズ 私の宝物(関聰三) ……………… 24
- ◇今後の主な年間スケジュール ……………… 25
- ◇編集後記 ……………… 25
- ◇協賛広告 ……………… 26

目

次

令和7(2025)年 知事年頭所感

大阪府知事 吉 村 洋 文



新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。いよいよこの4月、大阪・関西万博が開幕します。2018年の開催決定以降、大阪府・大阪市一体で、国や博覧会協会、経済界などと連携し、この国家プロジェクトの準備に全力を尽くしてきました。本年は、その集大成となる「万博イヤー」です。

万博では、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、世界が抱える様々な課題に対して、革新的な技術やアイデアなど、人類の叡智を結集し、解決への針路を示していく。そして、その成果を活かし、万博後も持続的に成長・発展し、世界に伍する大阪をつくり上げていく。これこそが、誘致段階から万博に携わってきた私の思いです。

「未来社会の実験場」となる万博会場では、まずは、世界最大級の木造建築物「大屋根リング」が皆様をお迎えします。そして、次世代の太陽電池と呼ばれる「ペロブスカイト太陽電池」や、空の移動革命として期待される「空飛ぶクルマ」、「言葉の壁」のない高度な自動翻訳サービスなどが展開されます。地元自治体として出展する「大阪ヘルスケアパビリオン」においても、自身の健康データを元に25年後の姿に出会える「ミライのじぶん」や、iPS細胞による「自ら動く心筋シート」、万博に向けて新技術開発などに取り組む、440を超える大阪の中小企業・スタートアップなどの技術力や魅力を発信します。皆様もぜひ会場で、これまで想像もしなかったような「未来社会」を感じてください。とりわけ、次代を担う子どもたちには、五感を通じてリアルに体感してほしいと願っています。

国内外から来阪される皆様を、安全・安心に、そして大阪ならではのおもてなしでお迎えする。あわせて、一人でも多くの方に大阪を知ってもらい、その魅力を感じてもらえるよう、関係者一丸となり、会場内外で万博との相乗効果を高

めていきます。

万博を契機に、世界中の人々をひきつけ、投資を呼び込み、大阪で挑戦する人材や企業が集まる流れを生み出していく。そのための新たな成長戦略、「Beyond EXPO 2025」を大阪府・大阪市で取りまとめ、速やかに具体化に着手します。

大阪・関西の強みであるライフサイエンス分野をはじめ、カーボンニュートラル、新モビリティなど、万博を機に芽吹いた革新的な技術の社会実装・産業化に向けた取組を加速させます。あわせて、ディープテック分野を中心としたスタートアップ支援や、「国際金融都市OSAKA」の実現に向けた施策を推進します。

大阪のインバウンドは好調に推移しており、万博を機にさらなる増加が見込まれます。この機を逃さず、大阪らしさを發揮した新たなエンターテインメントの創出や、観光客の受入環境整備、世界最高水準の成長型IRを核とした国際観光拠点の形成など、都市のプレゼンスを高める魅力づくりに力を注ぎます。

また、昨年9月、100年に一度の再開発とも称される、うめきた2期の先行まちびらきを迎えた。都市の中心に「みどり」を備えた新たな大阪の顔として、さらなるにぎわいの創出が期待されます。引き続き、夢洲や大阪城東部といった、成長の拠点となるまちづくりを推進するとともに、なにわ筋線や大阪モノレール、淀川左岸線など、成長を支える都市基盤の整備にしっかりと取り組んでいきます。

万博の成功と、そのインパクトを活かした大阪の成長。これらを府民の皆様の安全・安心や豊かな暮らしの実現につなげていきます。行政として重要な使命は、府民の皆様の命と財産を守り抜くことです。昨年の能登半島地震などにより、改めて災害への備えの重要性を痛感しました。頻発する自然災害へのソフト・ハード両面での対策や、新たな感染症の発生を想定した取組など、危機事象への対応力強化を図ります。また、急増する特殊詐欺から高齢者の皆様を守るために、金融機関などでの対策を義務付ける全国

初の条例整備をめざします。あわせて、長引く物価高騰への対策や、人口減少局面にあっても市町村が将来にわたって行政サービスを安定的に提供できるよう、基礎自治機能の充実・強化に取り組みます。

大阪の未来をつくるのは子どもたち。教育は無償であるべきというのが私の考えです。生まれ育った環境に左右されず、自らの可能性を追求できる社会をめざし、昨年春、高校、大阪公立大学等の授業料等の完全無償化をスタートさせました。全国を先導するモデルとなるよう、令和8年度の制度完成に向け着実に進めます。さらには、不登校やヤングケアラーへの支援、児童虐

待への対応など、子どもたちの健やかな成長と学びを支える環境の充実を図っていきます。

人々の心に残り、明るい未来を切り拓く万博を実現する。全ての関係者の思いを一つに「万博イヤー」を駆け抜けます。そして、大阪を持続的に成長・発展させ、平時の日本の成長と非常時の首都機能のバックアップを担う「副首都・大阪」への確かな歩みを進めていきます。

本年も、府民の皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げますとともに、皆様にとって良い年となりますようお祈りいたします。



2025年 年頭所感

理事長 和田 正



年頭にあたりご挨拶を申し上げます。
厳しい寒さが続いておりますが冬の寒さも日本の四季の移ろいに欠かせない物であり、皆様におかれましては心暖かく健やかにお過ごしのことと思います。

平素は大阪鉛螺卸商協同組合の活動にご理解、ご協力頂き誠に有難うございます。心より御礼申し上げます。

昨年を振り返ると社会情勢は目まぐるしく変化し、気象・紛争・犯罪・病理等々どれ一つ取りましても過去に例が無いと騒がれる事案が多くありました。我々に取りましても少なからず影響を及ぼしております。その中でも私が心を痛めたのは昨年元日の「能登半島地震」です。ニュースを見ていて何故今日なのかの思いと、被災状況が明らかになるにつれ愕然と致しました。その後も度重なる地震、そして豪雨に遭われた被災者の方々へは心よりお見舞い申し上げます。

改めて防災への備えと先ず自助が大切であ

りその上で家族、会社、地域単位の防災意識の向上をしっかりと考えていく事が重要であると再認識致しました。

さて我々ねじ業界ですが、今年も社会情勢、ともすれば社会常識も変わっていく様な時代の中で、直近では物価高・人件費高騰・人手不足・運送問題・関税問題等々会社経営への難題が山積しており、勿論対処し解決していくのは個々のお会社単位ですが同じ業界経営者である組合員同士には悩みを聞いて貰える相談できる仲間があり、それが組合がある意義の一つと思っています。切磋琢磨して業績を上げていく中で組合活動の場で色々な話をし、ヒントやアドバイスを貰える可能性が少なく無いと思っています。大阪鉛螺卸商協同組合は明るく楽しく面白い組合で有りたいと考えており更に組合員数が増える事を願っております。この一年、三役、各委員長、各支部長、スタッフの皆様は全てのイベントを精力的に開催して頂きました。心より御礼申し上げます。

最後になりましたが、皆様のお会社の今後益々のご隆盛とご家族、社員様のご健康とご多幸を心より祈念し年頭のご挨拶とさせて頂きます。

巳年の門出を祝う 令和7年新年互礼会を開催

当組合は1月10日に大阪市中央区のシティプラザ大阪において新年互礼会を開催しました。当日は来賓5名を含む総勢100名超の関係者が出席。食事会を通じて懇親を深め、新春の門出を祝いました。

司会は総務委員会の小西弘美委員長が務め、初めに和田理事長より新年の挨拶がありました。和田理事長は挨拶の中で昨今の政治・経済情勢に触れながら「大阪府・市をはじめいつもご支援いただいている皆様に助けていただきながら組合の運営に努めていきたい」旨所感を述べました。また来賓の紹介では行政のほか関係団体の5氏が紹介され、代表して横田早紀氏（大阪府商工労働部）と出井健嗣氏（大阪市経済戦略局）がそれぞれ祝辞を述べました。

在阪ねじ商社の若手経営者及び後継者を中心に組織される「OS会」の新幹事紹介では25年度の代表を務める藤本翔平代表幹事（藤本産業株）より挨拶があり、藤本代表は今年の活動テーマを「共創（きょうそう）」としたことを紹介しながら「互いの力を持ち寄り活動を通じて交流

し、安心して話せるコミュニティを作ることでOS会を相互成長の場にしていきたい」旨活動の抱負を述べました。

毎年恒例である年男・年女の紹介では該当する11名のうち出席した8名（※代理出席含む）に和田理事長から記念品が贈られ、登壇者を代表して西沢千秋氏（㈱ホシック）が「若返りの秘訣」に関するユーモアあふれる挨拶を述べました。

新年互礼会の乾杯の発声は増谷彰彦相談役・理事が務め、由良泰雅副理事長の三本締めにより盛会裏に散会となりました。なお当日の会場前では昨年11月に行われた「F E検定」の合格発表が行われ、新たに組合員11名が「Fastener Engineer（ねじ技術者）」として認定されました。合格おめでとうございます。



年男の皆さん



OS会紹介の様子

組合だより

◇表彰

おめでとうございます。

◎大阪府中小企業団体中央会 組合経営功労者

- ・由良産商株式会社
代表取締役社長 由良 泰雅 氏
(2024年9月)

◎大阪府商工関係者表彰 優良団体役員

- ・株式会社垣内螺子商会
代表取締役 堀内 龍夫 氏
(2025年2月)

◎一般社団法人大阪卸商連合会 優良団体役員

- ・由良産商株式会社
代表取締役社長 由良 泰雅 氏
(2025年2月)

◇新社長就任

○東部支部所属

- アサヒアペックス株式会社
代表取締役社長 森孝允氏
(2024年10月就任)

○東部支部所属

- 株式会社三笠・鉄螺
代表取締役社長 高橋 聖志氏
(2024年11月就任)

◇訃報

ここに謹んで哀悼の意を表し、
ご報告致します。

○中央支部所属

- 明和鉄螺株式会社
代表取締役 北方 康晴氏
(2024年12月24日ご逝去)

～令和7年 新春企画～ 已年生まれ経営者アンケート

- ねじ業界に入られて何年におなりですか？
- ねじ業界に入られた動機は？
- ねじ業界の将来をどう思われますか？簡単に。
- 本年の景気予測は？簡単に。
- 貴方のお好きなスポーツ選手・
芸能界その他の人、その理由。
- 貴方の座右の銘は？
- 貴方のご趣味は？
- ご自分で何かスポーツをなさっておられますか？
- 何時もよくご覧になるメディアは？貴方のお勧めは？
- グルメについて貴方の推薦のお店と、
その店の自慢料理をご紹介下さい。
- お正月のお休みはいかがなさいましたか？
初詣・旅行・家族サービス・それとも？
- 貴方のとくに気をつけておられる健康管理方法は？
- 最後に、2025年に年男年女となる貴方の
新年のご抱負を一言。

第一ボールト(株)

小林 三洋

(昭和28年生まれ)

- 48年。
- 父創業の会社を継承するため。
- 大いに明るい。
- 良い。
- 一隅を照らす。
- ゴルフ。
- ストレッチ、筋トレ。
- 旅行。
- 「感謝」して「素直」に生きること。

(株)ホシック

西沢 千秋

(昭和28年生まれ)

- 45年。
- 小さい頃から会社に出入りしていた馴染みから。
- 流行り廃りなく、モノづくりには不可欠。
- 波乱含み。
- 相撲なら大栄翔・若元春・若隆景
飾らず目立たず手を抜かず。

7. 山歩き 神社巡り 秘湯巡り。

8. 今はもっぱらテレビ観戦。

9. 「映像の世紀バタフライエフェクト」
「ドキュメント72時間」。

10. 会社近くの中華「白牡丹」安くて美味しい。

11. 毎年正月は初詣と家族との団欒。

12. 毎朝の体操と歩くこと。

13. 「心身健康で次の年男を迎える」
とでもしておきます。

フカヤ産業(株)

廣瀬 正信

(昭和28年生まれ)

- 54年。
- 入社当時の前職の会社が素晴らしい企業で
あった為。
- 非常に明るい。
- 24年の実績より拡大する。
- 為せば成る。
- ウォーキング。

9. 新聞、テレビ、YouTube。
10. 数組しか受け入れない完全予約制の炭火割烹「いなせ」。
11. 正月休みの9日間でウォーキング15万歩。
12. よく寝てよく食べる。
13. 今年一年会社の業績拡大を図り、みんな健康でいること。

(株)オオヤマ

大 山 寛 之
(昭和40年生まれ)

1. 今年で34年。
2. バブルがはじけた1991年に父から声を掛けられて。
3. 差別化が進みそう。
4. 後半少し上向くのでは。
5. 阪神の大山全てに手を抜かず一生懸命な所。
6. 繼続は力なり。
7. ゴルフ、旅行。
8. ゴルフ。
9. 野球中継、テレビ大阪系ニュース番組。
10. 法善寺 桃醉、福島 弘大。
11. 家族旅行。
12. 週2回の休肝日を設ける。偏食しない。
13. 一年無事健康であれば。

(株)北川製作所

北 川 浩 史
(昭和40年生まれ)

1. 37年。
2. 家業を引き継ぐ為。
3. 無くなる事はないが、締結方法は進歩し楽観的ではない。
4. 先行き不透明。
6. 失敗は成功の基。
7. バイクツーリング。
8. ゴルフ。
11. 初詣。
12. ウォーキングと十分な睡眠。

(株)M&T

鈴 木 敏 彦
(昭和40年生まれ)

1. 30年。

2. 化粧品業界の女性関係に疲れて…。
3. 永遠に不滅です。
4. あまり良くはないのかなあ。
5. ロバート・デ・ニーロ。
6. 一念発起。
7. ゴルフ。
9. 孤独のグルメ。
10. 大阪北浜あなごや／料理についてくる藁味。
11. 家族サービス。
12. 減酒と睡眠。
13. 感謝を忘れず頑張ります。

弘陽工業(株)

中 上 真 一
(昭和40年生まれ)

1. 35年。
2. 成り行きで。
3. 底堅いと思う。
4. ぼちぼち。
6. 人間万事塞翁が馬。
7. 競馬。
9. グリーンチャンネル、お勧めは先週の結果分析Ⅱ。
11. ダラダラしてました。
13. 上手く時間を作れるようになりたい。

(株)カーマン

金 田 哲 治
(昭和52年生まれ)

1. 22年。
2. 家業だったので。
3. 堅い。
4. 業界によって良し悪しはっきりしそう。
5. 井上尚弥と中谷潤人。
毎試合ワクワクさせてくれる。
7. お酒とゴルフ。
8. ゴルフ。
9. テレ東の「家、ついて行ってイイですか?」。
10. 東京 西早稲田「ティーヌン」のトムヤムラーメン(中華麺)。
11. 伏見稻荷大社に初詣。
12. 野菜をたくさん摂る。
13. 仕事も遊びも一生懸命に!。

委員会だより

組合員の為に！

総務委員長 小西 弘美

新年明けましておめでとうございます。

昨年の委員会の活動として「新年互例会・総会・忘年会」と全ての行事を終えることができました。滞りなく行事が進められたのは、ひとえに組合員の皆様のご協力によるものと心から感謝いたします。

さて、2025年の行事は、新年互例会を1月10日（金）・総会を5月27日（火）、忘年会を12月5日（金）と計画しています。

今年の総会は「三役・常任理事・理事」の改選年であり、また各委員会メンバーの変更もあると思われます。

新メンバーの人選には、次期改選を含めて考慮しておく事も肝要ではないかと思います。そうすることで、新委員会メンバーとの打ち合わせを行う際、今後の総務委員会の在り方や方向性が自然と出てくる（見えてくる）と思います。

私は総務委員会とは「組合員の皆様の為の縁の下の力持ちでありたい」と考えています。多忙な中ではありますが「縁の下の力持ち」として、委員会の皆様とチーム一丸となって頑張っていきましょう。

最後になりましたが、2025年組合員の皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

卸業に必要な知識を向上

経営委員長 宮川 勝

新年明けましておめでとうございます。

平素は経営委員会の活動に対し、多数の御参加又何かとご協力を賜り、誠に有難う御座います。

経営委員会として、昨年は日常業務に役立つ事を中心に活動して参りました。内容と致しましては、卸業に關係の深い製造業の知識、また非常に関わりの深い物流業の知識について勉強をして参りました。内容と致しましては、10月に金剛鉄螺（株）奈良工場及び（株）松徳工業所様の方に工場見学会を実施致しました。金剛鉄螺（株）様での内容は、鋼材から鉄螺が形成される（ヘッダー、トリミング、ねじ切り）工程迄全ての工程を見学し、普段見る事の出来ない製造について貴重な体験が出来ました。次に（株）松徳工業所様の見

学会では、焼入れ設備を近くで見学出来、温度管理と品質との重要性を学習する事が出来ました。

続きまして11月には、（株）三協様の寝屋川EC物流センターを訪問し物流に関する知識を高めきました。（株）三協様での見学は、如何に正確に製品を出して行くかと言う事の説明を受け、参加者の日常業務での次のステップに繋がった事だと思います。見学させて頂いた全ての会社様におかれましては、お忙しい中ご尽力を頂き非常に感謝致す所存であります。

最後になりましたが、組合員様の皆様におかれましては、当委員会の活動に一層のご理解を賜り、経営委員の活動に奮ってご参加頂ける様お願い申し上げます。

FE検定に挑戦を

労務委員長 大西 啓文

新年明けましておめでとうございます。

平素は各種セミナーに多数のご参加を賜り誠にありがとうございます。

さて昨年11月にはFEセミナージュニアコースを45名の参加をいただき、部屋一杯の活気あるセミナーが開催されました。コロナ明けには、ソーシャルディスタンス？を保ち、30名に減員して開催していたことが懐かしく感じられます。最近は一方的に聞くだけのセミナーではなく、グループワークも取り入れ、会って間もない人同士が、楽しそうに活発に話をしている姿に驚かされます。7月にはスタンダードコースを40名の方に2日間に渡り受講いただきました。毎回案内にも記載していますが、このスタンダードコースは内容が濃く、ねじの規格から品質管理まで盛沢山の講義がある為、ねじ業界の経験が浅い方には習熟困難な内容が含まれます。このコースを受講いただいた方には昨年11月に第6回目の開催となりましたFE検定に是非挑戦してほしいと思います。合格者は第1回14名（52名受験）第2回19名（43名受験）第3回11名（28名受験）第4回7名（17名受験）第5回7名（24名受験）第6回11名（24名受験）の検定合格者FAST ENGINEERが認定されました。このFE検定は直近3年間にスタンダードコースを受験された方は検定費用が免除となります。もちろんそれ以外の方も有料にはなりますが、自己の

ねじの知識を量るものさしとして、挑戦していただければ幸いです。また例年通り、図面の見方・描き方コース、加工体験コースも開催致します。今年も各セミナーへ奮ってのご参加をお待ちしております。

ご協力ありがとうございました

業務委員長 園田 徳郎

新年あけましておめでとうございます。

今年の干支は『ヘビ』十二支の六番目で脱皮を繰り返し成長することから「生命力」「再生」を象徴します。これにあやかって経済再生の年となつてもらいたいものです。

さて、平素は業務委員会の各種事業にご理解とご協力を頂きまして誠にありがとうございます。昨年度メイン事業であります出版事業のねじ手帳・A5ビジネスダイアリー・ファスナーカレンダー・ファスナーカレンダー卓上版の販売はねじ手帳とA5ビジネスダイアリーが前年並みの販売実績を確保、ファスナーカレンダーは残念ながら減少しましたが一昨年より発売を開始したファスナーカレンダー卓上版は販売部数を増加させることができました。発売間もない商品ですので販売数がどのように推移していくか期待と不安が入り混じった感じでしたが増加という結果にひと安心しているところです。これも組合員の皆様のご協力の賜物と心より感謝いたしております。この場をお借りして御礼申し上げます。また、共同購買・各種保険・カーリースの各種事業も引き続き行っておりますのでこちらの方々ご協力賜りますようお願いいたします。

値上げが続く今日この頃、組合財政も厳しさが増す中少しでも寄与できますよう活動いたしますのでご支援、ご協力賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

今年も暑かった

福利厚生委員長 竹上 浩史

2024年度、第73回大鉛協野球大会は、サンコーインダストリーAチーム様の優勝で、幕を閉じました。おめでとうございます。しかしながら、今年も暑かった! 今回、17チームが参加し、熱戦を繰り広げましたが、参加選手がギリギリのチームもあり、選手交代もままならない中、皆さん、本当に頑張って頂きました。試合中、気分が悪くなる選手もいましたが、大事には至らず、無事終えることができました。ただ、年々暑

さが酷くなってきており、今まで以上の熱中症対策が必要になってきています。こまめな水分補給はもちろん、塩分補給も必要です。備品だと、冷やしたタオルや、冷却スプレー、充電式の扇風機や、噴霧器等もあれば良いかもしれません。そして一番大事なのは、無理をしないこと。少しでも不調を感じたら、休むことが大事だと思います。私は、ずっとテントの中で試合を見ていただけでしたが、帰りに全身が攣り、動けなくなってしまいました。やはり、水分と塩分が足りていなかったと思います。すぐにスポーツドリンクを飲んだのですが、胃に貯まるだけで身体にはすぐに浸透しません。こうなると、痛みに耐えながら、ただひたすら我慢するだけです。とにかく、喉が渴いて無くとも、こまめに水分を摂ることが大事だと思いました。

今回は皆、軽症ですみましたが、重症者が出来る前に、いっそのこと野球大会を止めた方が良いのではないか?、という意見もあります。リスクを回避する上では、一番いい方法だと思いますが、毎年約300人近くの選手が参加し、応援団も入れると、3日間で延べ500人近くの方が参加してくれます。これほどの人数を動員するコンテンツは、他にはありません。個人主義や多様性が叫ばれる今日ですが、多くの人々が楽しめる、これも組合の役割の一つではないでしょうか。

二季

広報委員長 奥山 隆史

新年あけましておめでとうございます。平素は広報委員会の活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。この度も『大鉛協』107号が無事発刊出来ましたこと、厚く御礼申し上げます。

昨年は春も秋も短く、このままではいよいよ日本の四季が二季になって、何をするにも一番心地よい季節が無くなっていくのではないかと心配になります。カーボンニュートラルにどの様に貢献していくか遅ればせながら、無い頭で考えていきたいと思います。

お陰様で徐々に「趣味のページ」も周知され、応募者数が増えてきております。出来る限り全ての作品を掲載致しますので、今後ともご応募何卒よろしくお願い申し上げます。

今年も委員会全員で力を合わせ、より皆様に楽しんで頂ける機関紙を目指して頑張りますので、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

支部だより

今年は新体制で!

本田支部長 小川 正也

新年あけましておめでとうございます。平素は支部活動に、ご理解ご協力頂き誠にありがとうございます。

前回の支部だよりも書きましたが、昨年は9月に納涼会を実施致しました。遅い時期となりましたが昨今の温暖化の影響でこの日も暑く、まさに「納涼会」にふさわしい日になりました。当日は天満橋の最強鮨居酒屋「やまのや」で、普通のお寿司のネタではない少し変わった創作寿司と一品料理をいただきました。なんでもお寿司を握ってくれた女将さんが元々すし職人ではないとのことで、「正統派の寿司では勝負出来ない」と思い、創作寿司を始められたとの事です。ドリンクは飲み放題、日本酒とワインは冷蔵庫から好きなお酒を選んで飲む方式で美味しい料理とお酒に暑さも忘れて楽しく交流できたかと思います。今年はまた、年明けに幹事会を開催して、今年の行事を決定する予定です。今年は2年に1度の支部旅行もありますので有意義な旅行に出来るように幹事一同相談して決めていければと思います。

また、今年は組合理事の改選の年で、本田支部も支部長はじめ新体制になります。詳細は、4月頃に開催予定の「支部総会」で発表させて頂きます。

最後になりましたが、2025年が皆様方にとって素晴らしい年となります事と、皆様方のご健康を祈念いたします。本年もどうぞ支部活動にご協力よろしくお願ひ申し上げます。

今年こそは…リターンズ

西部支部長 辻 宏二

新年あけましておめでとうございます。組合員、支部員の皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、支部活動にご理解、ご協力頂き厚く御礼申し上げます。

2025年の干支は、乙巳(きのと・み)です。乙巳の年には、大きな変革が起こるとされています。

そう言わると、2024年は世界各地が選挙イヤーの年であり、アメリカ大統領選挙ではトランプ氏が勝利し、1期目よりもアメリカ第一主義の政策がなされると考えられその動向に注意していくなければなりません。また、日本では衆院選において与党が過半数割れとなり、7月には参院選が行われ日本の政局も大きく変わるかもしれません。これらが私たちの仕事や生活に良い変化をもたらすのか悪い変化をもたらすのかは現状わかりませんが、今まで以上に注意深く、周到な準備を怠らず、適切な対応を選択していくべき、素晴らしい成果が得られる一年にできるのではないかでしょうか。

さて、今年度の支部活動ですが、1月10日にホテルエルセラーン大阪内日本料理 桂にて行いました。そして、表題にあります通り、11月には昨年中止した支部旅行を今年こそは!実施いたします。既に交通手段の予約も完了していますので必ず行きます(笑) また、例年通りゴルフコンペも2回行う予定です。今年も幹事一同支部運営に邁進してまいりますので、多数のご参加、ご協力をお願ひいたします。

最後になりましたが、2025年が皆様方にとって健康で素晴らしい一年になりますように、心からお祈りいたします。

本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

2025年に思う

東部支部長 堀内 龍夫

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は元日より大きな災害、飛行機事故等と波乱の幕開けとなりましたが、パリオリンピックでの日本人選手の活躍、また、大谷選手の2年連続のMVP獲得等、うれしいニュースもありました。今年は大阪関西万博が4月13日より開幕し、期間中2820万人の来場者が想定され、関西の景気も上向く事を期待します。また、10月13日までの184日間の開催期間中、事故なく閉幕を迎えることを祈っています。

さて、平素は支部活動に御協力、ご支援を賜

り誠に有難うございます。昨年の活動は、暑気払いをニューミュンヘンで開催し、秋には恒例のバス親睦旅行を実施しました。最後の行事として、第40回の支部コンペを春日台カントリークラブで4組16名の参加を頂き盛大に行う事ができました。2025年は2月7日の新年会がスタートで、4月4日には支部総会を予定しています。

最後になりますが、幹事の皆様と力を合わせ、支部会員様に楽しんでいただける企画を考えています。蛇の生命力、忍耐力、金運力の強さにあやかり、素晴らしい1年となります様に。

何事も前向きに!

中央支部長 尾崎 正洋

新年あけましておめでとうございます。
平素は支部会員の皆様には支部活動にご理解
ご協力を戴き誠にありがとうございます。

さて、今年の干支は『乙巳(きのとみ)』で、要は『へび年』です。多くの人にとって成長と結実の時期となる可能性が高く、乙は未だ発展途上を表し、巳は植物が最大限まで成長した状態を意味するそうで、これまでの努力や準備が実を結び始める年と言われています。まさに私達にとって吉兆の年になればと願っております。

さて、昨年初頭からは急激な円安の影響で輸入品が軒並み価格上昇しました。その影響で電気、ガス、水道等の公共料金やガソリンの値上げ、更に各種食料品全般も値上げに見舞われ、今年も各種生活必需用品の値上げが継続しています。また、昨年の初頭には政府から企業に対し、従業員の賃上げ推奨のコメントが発せられました。大手企業の多くは、潤沢な内部留保金を背景にベースアップを実施したことが、新聞、テレビで報道されました。しかし、我々中小企業にとっては厳しい環境の中、大手企業との賃金格差による人手不足を少しでも埋める為の『防衛的賃上げ』の対応をせざるを得ませんでした。今年も引き続き『防衛的賃上げ』に対応する為の経営の舵取りが難しい局面を迎えようとしています。また、支払いサイト短縮(60日)問題や昨年4月に施工された『物流の2024年問題』に絡み、今年は段階的な運賃値上げも予想されます。更に、ねじの規格改正『附属書廃止に伴うJIS本体への移行』も

業界にとって大きな変革期を迎える1年になりそうです。

さて、昨年の中央支部は、年明け1月下旬の『新年会』に始まり、3月上旬には京セラドームで開催の『阪神タイガースVS横浜ベイスターズ』観戦チケット配布、4月下旬には『支部総会』を開催しました。8月には『暑気払い懇親会』を企画しましたが、当日台風接近の為、残念ながら中止となりました。11月初旬には1泊2日で長崎市へ向かい『軍艦島上陸』をメインに2年ぶりの支部懇親旅行を総勢17名の参加をいただき、親睦を深めた大変楽しい旅行を満喫しました。そして、今年1月下旬には西区堀江にある『堀江燈火』にて『新年会』を開催しました。今後の支部行事は、4月下旬開催の『中央支部総会』のみとなりました。今年も各社色々な問題を抱えられると思いますが、何事も前向きに捉え、『神様は越えられない壁は与えない』の言葉を信じ、『乙巳(きのとみ)』の一年を乗り切って参りましょう。

結びになりますが、今年は皆様にとって商売繁盛の良い年になります事と皆様のご健勝をお祈り申し上げ年頭の挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

時の流れに

九条支部長 山田 尚央

あけましておめでとうございます。
平素より支部・組合活動にご協力いただき、誠に有難うございます。

物価は上昇すれども、収入の増加は未だ実感できず。万博景気なるものは、果たして存在するのでしょうか? 差し当たって、支部行事にかかる費用も、ご多分に漏れず上昇傾向。この流れにのって、一泊二日の支部旅行も隔年開催と相成りましたので、今期は代替行事として、日帰りバスツアーや3月に、和歌山方面へ繰り出す予定です。

いよいよ4月には、大阪・関西万博が開幕します。私たちの業界にとって、吉と出るか凶と出るか。先の読みづらい一年となりそうな予感もしますが、少しずつでも良い景気の流れとなることを願うばかりです。

本年が皆様方にとって素晴らしい一年となりますよう祈念いたしますとともに、本年度も、ご理解ご協力の程、どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

隨 想 投 稿 欄

独り楽に進まぬように

(株)有希ファスナー

山田 尚 賢

この度12月に原稿のご依頼を頂き当初は大鉄協の有志で開催しているサバイバルゲームの事を書いて仲間を集めようと自分勝手なことを考えていた所、お隣韓国で大統領が戒厳令を発表し国内を騒然とさせた。日を置かずにシリアのアサド政権の転覆と年末に来て世界情勢は落ち着くことが無い、流石にこのような状態で趣味の話を書くのも憚られるので、これらの事件を受け思ふことを書かせて頂くこととした。

これらの事件について少し触れるが、韓国の大統領による戒厳令発令は、1987年の民主化以降初のこと、元来は未曾有の脅威に対して一時的に国民や三権分立に制限をかけてでも国家国民を護る為のものである。しかしながら今回は自己保護的な背景が有りそうなので今回の騒ぎになっているようだ。現在12月23日であるが、いずれ司法による原因究明が行われるだろう。これらの経済的影響も大きくサービス業の多くが打撃を受けたとの試算も出ている。

一方12月8日のアサド政権転覆であるが、こちらは少し歴史が古く、1963年のクーデターでアサド前大統領の父親が政権を握って以来の世襲政権が崩壊したのだ。

このアサド政権については独裁色が強く、2011年以降の内戦については目を覆う様な報道が多く、又これらを大国がそれぞれの陣営に様々な形で支援することで代理戦争の様子も呈していたが、とうとう支援していた大国からも退陣要求が暗にあったようで、現在アサド前大統領一族はそちらに避難中との憶測が流れている。

これらの大きな事件の報道を見聞きしながら思うことは、第一にその国に住もう方たちの無事と平安であるが、同時に経営者として気になるのは権力というものの有り方と行使の方法である。

國家の元首と比べるのもおこがましく感じられるが、人の人生に影響を与える立場であるという点では同じであり、組織を率いるからには第一に組織の繁栄と所属する人の安寧を考えて行くべきであるとは思うが、こと人という生き物はふと魔が差した時にそれらを脇に置きがちになる。ともすればそれらが3番手4番手とするする後退する危険性すらある。

かのプラトンは哲人王論で個の暴走による組織の崩壊を阻止することを説いたが、現代においてはどのような哲人王が善とされるのか、答えは難しいと思う。

国内においてすら日々変化する経済、政治、法律等々重要な判断材料が多く視野が狭くなり易い中で、独善的な判断と権力行使にならないよう気を引き締めていかねばと改めて追考させられる2024年の年末となった。

敗北宣言

小林鉄螺(株)

小 林 敬

何度も、何度も書き直した。思い浮かぶ言葉をつなげ、時には破り捨ててはまた書き直す。それは決して楽な作業ではないが、どこか充実感があり、書き上げたときには小さな達成感が伴うものだ。

ところが、ある日ふと試しに、チャットGPTに随想文を書かせてみた。それが軽い遊び心からの行動だったことは認める。「まあ、AIがどんなものを書くのか見てみよう」という程度の気持ちだった。ところが、出来上がった文章を目の当たりにした瞬間、私は心の中で唖然とした。

そこには流れるように美しい文章があり、構成は緻密で、どこか哲学的な深みすら感じさせる内容だった。私が苦労して何度も書き直した自作の随想文と並べてみると、差は歴然だった。言葉の選び方、リズム感、まとまりの良さ、どれを取ってもAIの方がはるかに優れているように感じられた。

「私は一体何をしているんだろう」そんな思いが頭をよぎった。どれだけ努力しても、この機械に勝てないのではないかという敗北感が押し寄せた。その日はもうペンを取る気力がなくなり、原稿用紙をそっとしまった。

しかし、私は一つのことに気づいた。AI の文章が「完璧」であることは否定できない。それでも、そこには私の「体温」がないのだ。AI は、私が歩いてきた道や、私が経験した痛み、喜び、そして悩みを知らない。私が何度も下書きを繰り返している間に感じる葛藤や、ふとした瞬間に生まれる小さな気づきは、AI には決して体験できないものだ。

随想文とは、たとえ不格好であっても、自分の心を映し出す鏡のようなものだと思う。私が書く随想文に価値があるとすれば、それは私の人生が反映されているからだ。AI に勝つ必要はない。むしろ、自分にしか書けない文章を書くことこそ、私の役目なのだろう。

と云った具合に文章を綴ってくれた AI に歯が立たない私であった。

上履きと成長

(株)ホシック
伊藤 訓 浩

私には娘が 2 人いる。長女は中学校 1 年生、次女は小学校 5 年生だ。一昨年までは、2 人とも同じ小学校に通っており、毎週金曜日にその週に履いたと思われる汚れた真っ黒な上履きを持って帰ってくる。

なぜこのようなことを書くか、それは長女の小学校入学まで遡る。

初めは、娘が持って帰ってきた真っ黒な上履きを新鮮な気落ちで毎週末に洗っていた。一足だと概ね 10 分程で洗い終える。2 年後次女も小学校に入学。一足が二足に増えた。もちろん洗う時間は倍になり、気付けば新鮮な気持ちは失われ、義務感で行っている作業。妻は、「子供たちに洗わせたら?」というので娘達に話をした。長女が中学年、次女は低学年の頃。1、2 回自分の上履きを洗っていたのを覚えている。甘いもので、土曜日の段階で洗っていないと、そのま

ま洗わずに持っていくのでは? と心配になり、日曜日に洗ってしまう。義務感の作業は、いつの間にか習慣へと変わっていたことへ気付いた。

毎週洗っていると上履きの汚れで色々な変化にも気付く。中学年頃までは、真っ黒な上履きを持って帰ってきていたのが、高学年になるにつれ、あまり汚れなくなってきてているのだ。上履きの履き方、ひいては歩き方、日々の態度まで少しずつ成長していることがわかった瞬間でもあった。何より洗う時間が断然短くて済む。

現在、長女は中学生のため上履きはなく、次女の一足のみで 5 分程で洗い終える。来年卒業のため、あと 1 年間の上履き洗いだが、全くもって名残惜しくはない。

さて、自分の成長についても考えることにした。娘達の成長は、もちろん上履きだけではないが、自身の成長はどうか、また速度はどうなのか。社会人となって 19 年目を迎え、日々成長しているのか、現在も自問自答中である。義務感で日常を送ることも大事だが、それだけでは、大きな成長は見込めないのではないか、とも思う。仕事でもプライベートでも「周りに良い影響を与えるながら自身も成長できる人へとなり続けたい」と考えている今日この頃である。

ちなみに、なぜ娘達の上履きを毎週洗うことになったかはご想像にお任せします。

現実はいい意味で違った

岡ボールト(株)
竹倉 果林

私は、ボルト屋を経営する家庭の息子に嫁いだ。『結婚』というと、二人が愛し合って決めるものだと考えている人も多いかもしれない。しかし、実際結婚とは二人だけの問題ではなく、自分の両親、そして相手の両親や家族も関わってくるのだ。そんな理由で、人生の一大イベントとなる。

さて、皆さんは『義家族』というと、どんなイメージを持っていますか? ドラマや映画などでは「嫁姑問題」や「帰省時の気遣い」など基本的にマイナスの印象で描かれていることが多い。実際のところ、友人たちからあまりいい話を

趣味のページ

前号に続き組合員・組合員企業の従業員様による俳句・川柳・写真・詩の作品をご紹介させていただく「趣味のページ」を掲載致します。今回の題材は「料理」です。

味み
噌そ
汁じる
の
ただよう
句くい
起きる
朝あさ

増谷ボルト(株)
田中 沙織 様

俳句の部

一ひとえ筆ひで
描かくシエプール
ねじ模様もよう

(株)ヤハタ
鈴木 治 様

陰かげ
善ぜん
おせらの味あじ
母ほに向とう

ペンネーム：
ペンちゃん 様

「俺おれ
洋裁洋裁
お雑煮ぞうに
祖そばの母の技わざ
が継ぐ！」

(株)カンタス
竹内 寛子 様

手て作りの
おせらに母はは
想いのじつ

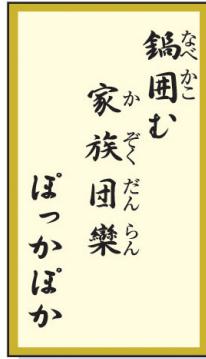
ペンネーム：
ペンちゃん 様

煮に
思ひ出するものは
幼少期の少しあり
のものは食べ

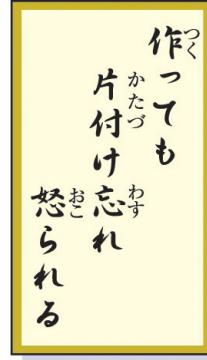
増谷ボルト(株)
西村 愛 様

もみの木を
息子むすこと装飾そうしょく
寒さき
朝あさ

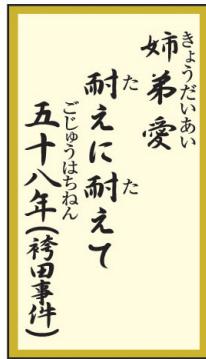
(株)三笠・鉢螺
是永 優香 様



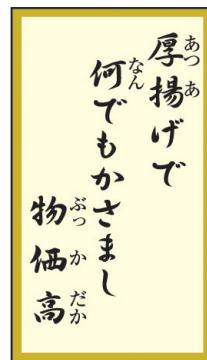
サンコーインダストリー(株)
森 彩乃 様



サンコーインダストリー(株)
指輪 健二 様

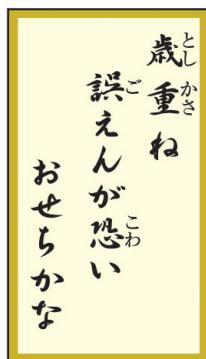


NB ファスナー工業(株)
西出 由子 様

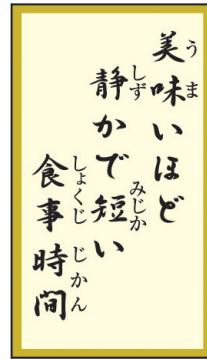


ペンネーム：
まおま様

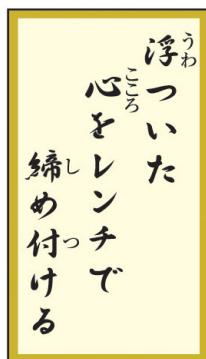
川柳の部



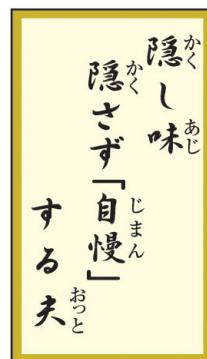
(株)カンタス
菖蒲 隆裕 様



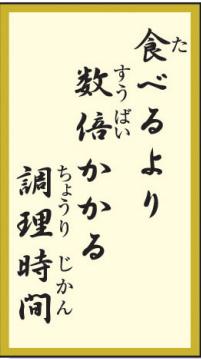
ペンネーム：
じやぶうち 様



(株)大丸鉄螺製作所
細山田 真太郎 様



サンコーインダストリー(株)
坂本 達治 様



ペンネーム：
大林 様



ペンネーム：
ユースケ・サンタモニカ 様

詩の部

『料理』(株)カンタス 北川 博章 様

前職で勤務中に大怪我
救急車は高速道路
日赤で緊急手術
僕は「まな板の鯉」
手術室で名シェフ(名医)に
「料理」された(笑)
今度は彼女に「胃袋を強く掴まれ」結婚

仕事が終り自宅の
エレベーター降りる
「絶対に美味しい香り」
食いしん坊の僕
香りに導かれ家の前
美味し過ぎる妻の料理
「胃袋は掴まれた」まま

写真の部



「なめろう 大好き!」
ペンネーム：松本留五郎 様



「大阪の有名デパートの名物やと思った?
半分正解! 博多限定めんたいこ入りやで☆」
ペンネーム：ヤハタのひつじ 様

～沢山のご寄稿ありがとうございました～

聞かず、私もそういう悪い印象を抱いていた。そのため、「結婚するなら絶対に相手の家族のこともよく知ってから」と心に決めていたくらいだ。

私たち夫婦は、一年半の同棲期間を経てから結婚した。同棲を始めた頃から『義家族』とは交流があり、すでに良くしてもらっていたため、結婚後も変わらず良い関係が続いている。むしろ、『実の家族』以上に仲が良いと感じるほどだ。

義父母には、食事や旅行に連れて行ってもらうことが多い。夫婦喧嘩をすると、最初に相談するのは義母だ。病院で緊急連絡先を書く時は、夫と義母の携帯番号を書くほど信頼している。義姉は同じ年ということもあります、友人のように何でも気軽に話せる間柄だ。私の友人たちが最も驚いていたのは、義祖父との関係である。毎週木曜日の夜は一緒に食事へ行き、月に二回は買い出しへ行く。年に一度、義祖父と夫、そして私の三人で旅行へ行き、同じ部屋で川の字になつて寝ることもある。本当に『義家族』とはとても良い関係を築けている。

今までの人生で「思っていたのと違う」と感じる出来事はいくつかあったが、これほど「現実がいい意味で違った」と感じたことはない。素敵な『義家族』に出会えた奇跡に感謝の気持ちでいっぱいだ。

最後に、改めて一言。いつもありがとうございます。

創立 70 周年記念旅行

(株)村井製作所

村井 正 大

昨年9月14日～15日にかけて弊社創立70周年記念旅行で韓国へ行ってまいりました。

参加者は全社員、全パートタイマーとし、希望制で出欠を取ったところ、全員参加!! こんなに嬉しいことはありませんでした。

弊社では会社行事として、新年会と夏の大鉄協の野球大会のみで元々多くはないのですが、昨年から野球大会も不参加になり全体行事が少なくなるというのは寂しいなと感じるところがありました。

そんな中での全員参加は正直予想外なところもありました。出欠が出揃うまでは社長と参加率半分以下だったら…と不安な話ばかりしていたくらいです。

なにはともあれ、いざ韓国へ!!

行程はいたってシンプルに1泊2日、ソウル市内観光、明洞泊。初日の昼食と夕食は全員で、以降ホテルチェックアウトまではフリータイムとしました。また希望者には延泊も出来るようにし、限られた時間ではありましたが、出来る限りフリータイムを取れるようにしました。

若干の詰め込み感はありました、時間を持て余すことなく楽しめたのではないかと思っています。

そして嬉しかったのが夕食時に、「またみんなで旅行行きましょう!」「次は何周年で行くんですか?」と、若手から声が上がったことです。

社長は、そんなすぐ行けるかー!と言っていましたが…まんざらでもない顔をしておりました。

弊社は社員の半数以上が30代と若いメンバーが集まってくれております。世間的には飲み会や社員旅行など煙たがられる世代とも言われますが、ありがたいことにその彼らが上司を飲みに誘い、今年は大鉄協のボウリング大会に出ましょう!と言い出し、初めて参加させていただくことになりました。

この投稿は年末に書いておりますが、今からボウリング大会に向けて練習に行く人を自分たちで募ってやってくれています。本当に頼もしく、ありがたいことだと感心するばかりです。

決まり行事になると当たり前になって嫌になります、なくなると寂しくなる。わがままに贅沢な悩みかもしれません、悩める幸せを噛みしめて次の社員旅行が実現するまでチーム村井、頑張ります。

1泊2日の行程でしたが、みんなが参加しやすいようにパスポート費用を支給、1人1部屋を取るために1年前から社長自ら見積から行程まで旅行会社と打ち合わせをして頂いたことに感謝しかありません。

また何年後か、会長も連れて行きましょうね。その時も段取り、お願ひします♪

OS会の頁

DJと私

藤本産業(株)

藤本 翔平

私は、今とかけ離れた過去があります。それは、DJとして活動していた日々です。あの頃は音楽が生活の中心で、平均週3回プレイし、日本全国、機会を頂ければどこにでも飛んで行きました。体力的にはハードでしたが、充実した毎日を過ごしていました。

DJは単に音楽が好きで、腕を磨けば良いというわけではありませんでした。一見、華やかに見えますが実際は違います。最初の数年は、先輩のレコード持ち、他エリアから訪れるゲストの宿泊や食事の段取り、遠征時の長距離運転、リハーサルでの音響確認など雑務が盛りだくさんです。DJプレイができるのも誰もいない時間帯のみです。ここで下積みの重要性を学びました。

DJはスタンドプレイに見えますが、実際は多くの支えで成り立つ、チームワークです。音響スタッフ、主催者、他アーティストとの連携、お客様の支持も求められます。自分の役割を全うしながらも、周囲との協力が不可欠です。少し話がそれますが、お客様が楽しいと感じる瞬間は、好きな曲や知っている曲がかかった時という調査があります。つまり選曲のスキルがDJの良し悪しを左右するといつても過言ではありません。一度かかった曲の再プレイや、人気のある曲を早い時間帯に投入するのはご法度です。楽屋で先輩にしばられます。一人ひとり少しずつフロアを温め、徐々に盛り上がる空気になってきたところで、ここ一番の選曲、ピークタイムへ突入です。この機を逃すと場がしらけてしまい、それは次回の集客に影響します。チームワークが結果を大きく変えるのだと実感しました。

DJプレイだけでなく、お客様やスタッフとのコミュニケーションも不可欠です。細部に至るまで気を配る必要があり、外からは見えにくい苦労が沢山ありました。振り返ると、DJ活動を通して得た経験は、自身の人生の糧となって

います。ある人が、「自分の選んだ道を正解にする」と言っていましたが、その通りだと感じています。チームワーク、コミュニケーション、それらが結果に影響するなど、具体的な中身は違っても、共通のエッセンスがあり、DJ活動を通じ得た学びを今後も生かしていければと心から思います。

とはいっても、当時の生活が周囲に迷惑をかけたことは否めません。不安定な生活に心配をかけたことと思います。特にやりたいことを自由にさせてくれた両親には、今も感謝の気持ちしかありません。ありがとうございます！

部活の思い出

(株)コボリ

池田 淳

先日、学生時代の部活の後輩から結婚報告をもらいました。電話越しではありますましたがお祝いを伝え、また十数年ぶりに互いに近況報告をすることができました。彼との思い出で一番記憶に残っているのは学園祭の時です。当時私は電子工作やプログラミングで作品を制作する部に所属していて、週に1度開かれる部会で進捗の共有や作品制作をするということをしていましたが、学園祭の時期が迫り、新人として入ってきた彼と初めて一緒に展示品を作ることになりました。学園祭では、学生や一般の方に向けて部員各々が自身の制作作品を展示するのですが、それとは別枠で子供向けコーナーを設けており、そこでライントレーザーというロボットを作る必要がありました。ライントレーザーとは床に描かれた線に沿って自走するロボットのことです、実際に動かすと紙の上で黒線を探して辿り走る姿がコミカルで可愛らしく、不思議な生き物のように見て、子供に大人気でした。基本的な原理やロジックも比較的簡単で、新人の電子工作の入門編としてもうってつけで、私も先輩として回路図の読み方やパーツの買いだし、

半田ごての使い方等、楽しく指導しながら後輩と共に展示の準備ができたことを覚えています。

今年度のOS会のテーマは共創です。思い返すと、私の所属していた部ではチーム一丸となって活動するということがほとんどありませんでした。上下関係等もほぼ無いに等しく、必要があれば情報交換をして、自身の知識や技術を形にして最後まで作り上げるために各々で頑張ろう、という場所でした。ただ、部会で「こんな物を作りたいが今この場所でつまづいている」というと、部員みんなが集まってきてくれて、制作途中の物を見てあーでもないこーでもないと議論が始まり、どんな電子デバイスが必要で何処のパーツショップで安く買えるよ、参考になりそうな回路図がどの雑誌の何月号に載ってたよ、家にオシロスコープあるから使いに来ていよいよ、基板の図面書くよ、等…みんなが何かしらの専門家のようない存在で、必ず助け舟を出してくれて、作品の完成まで支えてくれたことを覚えています。ゴールは個々に委ねられていましたが、あれも共創の形のうちの一つだったのでと思います。OS会でも毎年様々な活動を行っていますが、そこで交流を深めて、意見交換して物事を進めたり、助け合いが出来るような場であればと思

います。今年一年幹事頑張りますので、よろしくお願いいたします。

タフな体

明和鉄螺(株)

川 原 陽 平

私はよく人からタフだと言われる。朝4時には起床。5時には仕事を始めている。夕方にはジムに通い、その後飲みの誘いがあれば基本断らない。そんな生活をもう何年も続けている。最近、私のタフさの話題になると、2年前に他界した父親のことを思い出し嬉しくなる。父はサラリーマン時代、早朝に市場で働き、そのまま市場でスーツに着替えて本業の会社に出社。営業職だったので毎晩酔っぱらって遅くに帰宅していた。私の家族は5人兄妹で、皆、大好きなサッカーを私学の高校や大学で心行くまでさせてもらった。サッカーを続けるにはお金がかかるし、食費や学費だけでもばかにならなかっただろう。自分も2人の子を育てる親になった今、父の凄さを痛感する。私も父譲りのタフな体を最大限に活かして仕事に子育てに励んでいきたい。



金剛鉄螺、松徳工業所を見学 経営委員会 工場見学会を実施

経営委員会では昨年10月29日に恒例の工場見学会を実施しました。当日は金剛鉄螺(株)(東大阪市)の奈良工場と(株)松徳工業所(大阪府柏原市)の奈良工場をそれぞれ訪れ、鉄螺の製造現場や熱処理・めっきといった表面処理加工の各工程を見学しました。

当日は見学に入る前に金剛鉄螺(株)の辻本社長より挨拶がありました。辻本社長は挨拶の中で「工場見学のお話をいただいた際、折角なので当社が熱処理をお願いしている松徳工業所様も一緒に見ていただいてはどうか」という話になった」と経緯を説明した上で「本日は短い

時間ではあるが皆さんのがんばる今後に役立つよう案内したい」旨述べました。

金剛鉄螺(株)奈良工場では圧造や座金の組込みをはじめ品質保証の取り組みや現場での工夫について関係者より説明を受けながら見学会が行われました。関係者によれば同社奈良工場で作られた製品は必要に応じて途中めっき加工を外部へ委託したのち、東大阪本社で検査・梱包を経て出荷を行っているとのことです。

(株)松徳工業所奈良工場では連続熱処理炉による熱処理の様子や昨年導入した亜鉛めっきラインを見学しました。同社関係者からは連続

熱処理炉の仕組みや工程について解説があつたほか、めっきについてはQRコードを読み込むだけで製品に応じためっき処理を自動で行える自動ラインの仕組みについて説明がありました。なおめっきラインについては昨年導入し



熱処理炉について説明を受ける様子

た設備であるとのことで関係者より「めっきでご要望あればぜひお問い合わせいただきたい」と新設備を紹介する一幕もあった。見学会は最後に記念撮影を経て散会となりました。



参加者による記念撮影

三協の寝屋川 EC センターを訪問 経営委員会 誤出荷ゼロの秘訣学ぶ

経営委員会(宮川勝委員長)では、昨年11月28日に同年2回目となる工場見学会を実施しました。当日は(株)三協(東大阪市、山田孝治社長)の寝屋川EC物流センターを訪問。関係者より説明を受けると共に倉庫内の見学を行ないました。

見学で訪れた(株)三協様ではEC物流とD to Cを中心に自社で入荷から出荷までの物流業務を行っています。また加えて物流業務及び物流施設運営の代行、システム開発、コンサルティングなど物流業務に関わる幅広い業務に携わっており、これらを通じて「誤出荷ゼロ」にこだわる物流品質を提案しています。施設内の見学ではアパレル、化粧品など同社が取り扱う商品に応じて工夫がされたレイアウトや各業務の

作業フローについて説明を受けました。

業種・業態に合わせた最適な業務フロー及び倉庫レイアウトの構築と自社SEによるフルカスタマイズした倉庫管理システム(WMS)が同社の強みであり、関係者によればこれまで90社ほどの顧客に対して提案したWMSは全て異なる仕様となっているとのことです。

同じく関係者によれば訪れた寝屋川EC物流センターではこれらの強みにより2014年の開設以来「誤出荷ゼロ」を実現されています。セミナーの終わりには同社が提供している物流倉庫の診断サービスである「物流ドック」に関する案内があり、見学会は最後に記念撮影を経て閉会となりました。



寝屋川EC物流センター前で



セミナーの様子

FEセミナー図面の見方・描き方コース 労務委員会 第29回目を開講

労務委員会(大西啓文委員長)では、東大阪市の大大阪府立東大阪高等職業技術専門校(テクノセンター東大阪)において今年も昨年9月12日・13日の2日間にかけて第29回目となる「FEセミナー図面の見方・描き方コース」を開講しました。今回も森由利子氏(同校テクノ講師)を講師として機械図面に関する知識と技能を学びました。

同セミナーはJIS(日本産業規格)に基づく製図・作図に関する知識及び機械図面の読図をテーマとしています。なお同コースは所定のカリキュラムに従って講習が行われるもので、全工程を履修した出席者には同校から修了書が授与されます。

初日の講義前には森氏より同講義の最終目標である「製図の基礎を説明できる」「三面図

の立体をイメージできる」「基礎図面を描くことができる」といった各ポイントについて解説がありました。また練習問題を挟んで行われた講義では「JIS規格は変化するのか?」をテーマに2019年に日本工業規格から日本産業規格へと改称された事例などに触れながらJIS規格の変化について解説しました。



講義の様子

第6回FE検定

労務委員会 合格目指してChallenge!!



挨拶する大西委員長

当組合は、昨年11月13日に第6回目となる「FE検定」を実施しました。当日々組合企業10社24名が受検のため出席し、「Fastener Engineer(ねじ技術者)」の認定を目指して試験に臨

みました。

FE検定は当組合が実施している認定制度で、主に「FEセミナー スタンダードコース」の習熟度の判定を目的としています。検定合格者は当組合より「Fastener Engineer(ねじ技術者)」として認定を受けることができます。FE検定は第三者認定機関である(株)NQA-JAPAN様監修の下行われており、これにより試験

内容の均一化を図っています。なお第5回までにおよそ160名が受検しており、これまでに58名がねじ技術者として認定を受けています。

当日は試験前に労務委員会の大西啓文委員長が挨拶に立ち、「プランクのある方も受けられているかと思うが、もし望んだ結果が出なかつたとしてもまた検定にチャレンジしてほしい」旨述べ出席者を激励しました。試験はこのあと金田哲治副委員長による注意事項の説明を経て午後2時から1時間行われました。



24名が検定に臨んだ

今回も大盛況に 労務委員会 第11回FEジュニアセミナー



講師の斎間氏

労務委員会では、11月22日に第11回目となる「FEセミナージュニアコース」を開催しました。当日は組合企業19社より46名が出席。昨年に続き今回も斎間孝氏(株)サイマコーポレーション社長)を

講師に、ねじの基礎について講義が行われました。

開会前には運営を務める労務委員会の大西啓文委員長より挨拶があり、大西委員長は「ジュニアセミナーはコロナ禍の時に規模を縮小していたが本日は満席となっている。1日楽しみながら講義を受けて欲しい」旨述べ、受講者を激励しました。また続けて梅田真吾副理事長が挨拶に立ち、「JISのハンドブックを見れば分かるようにねじについて覚えることは沢山ある。緊張されていると思うがどんどん質問して欲しい」旨述べました。

講師の斎間氏は初めに同講義を「『知識の増やし方』のセミナー」と位置付けた上で「知識を全て身に着けるのではなく必要とする知識の調べ方を身に着けることが重要である」旨解説をしました。当日はねじ業界の構造や世界のねじ業界に関する説明をはじめ、ねじの規格や形状、表面処理や機械的性質、品質管理に至るまでねじに関する幅広い内容について講義が行われました。このうち環境法令に関する説明の中では今後本格的に運用が始まる見込みであるCBAMに触れるなど最新の話題も取り扱われました。



真剣に話を聞く受講者ら

ねじの加工にトライ! 労務委員会 FEセミナー加工体験コース

労務委員会(大西啓文委員長)では、昨年10月3日・4日の2日間にかけて「第7回FEセミナー加工体験コース」をポリテクセンター関西(大阪府摂津市)で開講しました。2日間で組合企業29名が受講し、今回も前年同様に汎用旋盤やフライス盤といった実際の工作機械に触れながらねじ切りなどの金属加工を体験しました。

当組合では教育研修事業として複数のセミナーを運営しておりますが、こちらのセミナーは工作機械に触れて操作方法を学ぶと共に実際に加工が体験できる貴重な機会となっています。

セミナー内容として受講者は午前中に「ねじ

の基本」や測定機器の取り扱いなどをテーマとした講習を受けた後に午後からは汎用旋盤によるねじ切り、そしてフライス盤による下穴加工をそれぞれ体験しました。なお最初の単元であるねじの基本に関する講義ではねじに関する内容の他に昨今注目を集めているDX・GXについて触れる場面もありました。



セミナーの様子

秋の箕面山を歩く

大鉄協&関西ねじ 合同ハイキングを実施

当組合は関西ねじ協同組合(西川倫史理事長)と、10月27日に合同行事として第10回目となる合同ハイキングを実施しました。当日は両組合より32名が参加。大阪府箕面市のハイキングコースを歩き、ハイキング終了後には近場の会場でランチを楽しみました。

参加者一行は午前9時に阪急箕面駅に集合してから箕面山の山頂を目指して出発。ハイキング当日は秋晴れの好天に恵まれ、途中休憩を挟みながらおよそ3時間程度山道を歩きました。正午前には「日本滝百選」に選ばれており景勝地として知られている箕面大滝に到着。その後は最終の目的地である箕面観光ホテルまで再び歩き、到着後は近くの箕面温泉スパガーデンでランチバイキングを満喫しました。

2016年より続いている両組合による合同ハイキングは今回で10回目の節目を迎えました。当初はハイキングを楽しむ内容となっていました。

ましたが7回目からハイキングと昼食会をセットにする形で実施されており、酒蔵巡りやBBQ、自然に囲まれた山小屋でのランチなど毎回趣向を凝らした内容が好評を博しています。参加者の皆様お疲れ様でした。

【合同ハイキング世話人=大鉄協・梅田真吾氏(㈱梅田精密)、関西ねじ・田中栄史氏(㈲三協鉄工所)】



箕面大滝前で

池田金属工業が優勝

福利厚生委員会

第14回テニス大会

福利厚生委員会(竹上浩史委員長)は、昨年11月24日に第14回目となる硬式テニス大会をミズノスポーツプラザ舞洲(大阪市此花区)で開催しました。ゲームの結果池田金属工業のAチームが見事優勝を飾りました。

準優勝は連合チーム、3位はテクノアソシエでした。テニス大会には組合企業より7チームが参加。当日は11月末ということもあって肌寒く時折小雨が降る場面もありましたが参加者は溌澤としたプレイでテニスを楽しみました。ゲームは前回同様男子・女子・男女混合によるダブルス形式で試合が行われ、大会終了後には参加者による自由な交流戦も実施されました。

今大会の出場チームは下記の通り(順不同)。テクノアソシエ、池田金属工業(A・Bチーム)、連合チーム(竹上鉄螺、増谷ボルト、トルク)、岡總、谷川精螺、N B ファスナー工業



優勝・池田金属工業Aチーム



準優勝・連合チーム

サンコーインダストリーが連覇 福利厚生委員会 第73回野球大会

当組合による第73回野球大会の決勝戦が昨年10月6日に京都府宇治市の山城総合運動公園(太陽が丘)で行われました。

当日は準決勝2試合と決勝戦の計3試合が行われ、サンコーインダストリーAチームが昨年に続き見事優勝を果たしました。大会3日目はここまで勝ち上がってきたサンコーインダストリーAチーム・Bチーム、ヤハタ、由良産商の4チームによる試合が行われ、試合の結果サンコーインダストリーが2年連続の優勝を果たした形です。また準優勝は由良産商でした。

当日の試合結果は下記の通りです。

▽準決勝第1試合

サンコーインダストリーAチーム 10-3 ヤハタ

▽準決勝第2試合

サンコーインダストリーBチーム 0-6 由良産商

▽決勝戦

サンコーインダストリーAチーム 10-0 由良産商



優勝・サンコーインダストリーAチーム

一年間お疲れ様でした 恒例の忘年会を開催

当組合は、昨年12月6日に大阪市中央区のホテルロイヤルクラシック大阪において年末恒例の忘年会を開催しました。

忘年会には組合企業の関係者など79名が出席。会の冒頭には和田理事長が挨拶に立ち、一年の出来事を振り返りながら「日本も含め政情が不安定な方向へ向かっているが、先行きが非常に不透明な中組合企業同士助け合いながら活動を進めていきたい」旨所感を述べた上で「(この忘年会が)一年の垢を落とす楽しい時間

になればと思う」旨挨拶しました。

続けて相談役理事の藤澤義弘氏(株)コムウエル・フジサワ)による乾杯の挨拶があったのち歓談へと移り、出席者は途中かみじょうたけさんによるモノマネやbingoゲームを挟みながら行く年を送りました。忘年会は最後に副理事長の由良泰雅氏(由良産商)が「今年は様々なことがあったが無事乗り越える事ができたと思う。良い一年だった」旨閉会の挨拶を述べ、大阪締めにより盛会裏に散会となりました。



乾杯の様子



bingoゲームの一幕

シリーズ 私の宝物

「ビール、日本酒、チャンガー」

(株)梅田精密

関 聰 三

私は、お酒を飲むのが何より好きです。

特に美味しいのが、野球をやった後に飲むビールです。

私は、51才ですが、今でも草野球でピッチャーをやります。試合で投げて打って勝った日に飲むビールは、「ビールを作ってくれる人達にノーベル賞を上げてほしい。」と思うほどビールが美味しいです。

次に、日本酒も好きです。日本酒がほんと美味しいと思うようになったのは、30才手前くらいからです。

特に、美味しい魚（刺身、焼き魚、煮魚問わず）と一緒に飲む日本酒は、「ほんと日本に生まれて良かった。両親に感謝。」と心から思えます。

最後にチャンガーです。チャンガーとは、ケニアの地酒です。

トウモロコシから作ってるお酒で、各農家で作っています。

私は、大学を卒業後、青年海外協力隊と言うのに参加し、ケニアで学校の先生を2年間していました。その時よく村の人達とこのチャンガーを飲みました。

今思うと、そんなに美味しいのですが、アフリカの大地で風に吹かれ、キリマンジャロを眺めながら村の人達とチャンガー飲むと「地球ってほんと素晴らしい。」と心から思いました。

この感覚は、今でも忘れる事が無いほど、宝物として心に残っています。



今後の主な年間スケジュール

2025.2

日 時				行 事 (予 定)	場 所
3	5 5	水 水	15:00 15:30	三役会 理事会	鐵鋼会館 鐵鋼会館
4	23 23	水 水	13:30 15:00	三役会 理事会	鐵鋼会館 鐵鋼会館
5	27	火		通常総会	シティプラザ大阪
6					
7	2 2 3~4 未定	水 水 木金	15:00 15:30	三役会 理事会 第36回 FEセミナー(STコース) 第74回 野球大会 キャプテン会議 ねじ流通商社経営実態調査票、組合員に配布	鐵鋼会館 鐵鋼会館 鐵鋼会館 (8月回収)
8	24	日		第74回 野球大会①(1~2回戦)	太陽が丘球場(宇治市)
9	3 3 4~5 14 20 21	水 水 木金 日 土 日		三役会 理事会／役員懇親会 第30回 FEセミナー(図面の見方・描き方) 第74回 野球大会②(2~3回戦) 広報誌(108号)発行 第74回 野球大会③(準決勝・決勝)	鐵鋼会館 鐵鋼会館／未定 テクノセンター東大阪 みどりが丘球場(宇治市) みどりが丘球場(宇治市)
10	9~10 19 未定	木・金 日		第8回 FEセミナー(加工体験) 第74回 野球大会(予備日) 工場見学	ポリテクセンター関西 みどりが丘球場(宇治市)
11	5 5 5 21 23	水 水 水 金 日	15:00 15:30	三役会 理事会 第7回 FE検定 第12回 FEセミナー(Jr.コース) 第15回 テニス大会	鐵鋼会館 鐵鋼会館 鐵鋼会館 鐵鋼会館 ミズノスポーツプラザ舞洲
12	5	金		忘年会	
2026 1	13	火	10:30	新年互礼会(関西ねじ協同組合様合同)	シティプラザ大阪
2	8 20	日 金		第50回 ポウリング大会 広報誌(109号)発行	心斎橋サンボウル
3	4 4	水 水	15:00 15:30	三役会 理事会	鐵鋼会館 鐵鋼会館
4	23 23	木 木	13:30 15:00	三役会 理事会	鐵鋼会館 鐵鋼会館
5	27	水	未定	通常総会	シティプラザ大阪

*上記は予定ですので、ご確認をお願い致します。

編 集 後 記

残暑が長引き11月初旬まで薄着で過ごしていた2024年ですが、後半になるとしつかり寒くなり帳尻を合わせてくる自然はすごいなと思います。商売も冬の時代が続いているが(弊社だけ?)しつかり帳尻を合わせて右肩上がりになるよう、風邪などひかず精進しようと思う今日この頃です。

ご寄稿頂いた皆様には心よりお礼申し上げます。
(庄司宜弘)

発行所
〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10
(スミコー南船場ビル)

大阪鉄螺卸商協同組合
電話 (06) 6271-4550

印刷所
〒557-0062 大阪市西成区津守1-12-23
株式会社 ベン・アート
電話 (06) 6567-3700

大阪鉄螺卸商協同組合へご加入の皆さん、 団体保険制度はご活用されていますか？

※皆さまの事業を取り巻くリスクは年々変化していきます。
保険制度相談窓口では、団体制度に限らず、リスクコンサルに基づく、様々な保険提案を受けることが可能です。
是非ご活用ください。



東京海上日動

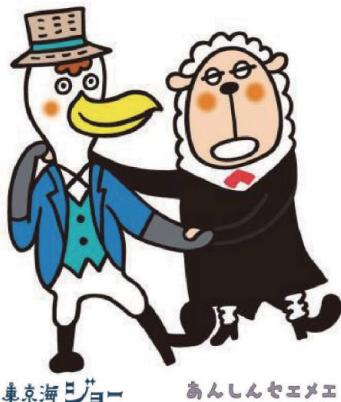
事業リスクの例

近年続! ◆ サイバー攻撃による情報セキュリティ被害

- ◆ 感染症や自然災害・火災などによる事業中断
- ◆ 納入したねじの欠陥による他者への賠償責任
- ◆ 従業員のメンタルヘルス・ハラスメント問題
- ◆ 経営者の病気・死亡による業績低下・事業承継

現在のリスク対策にご不安のある方、最新情報にご興味がおありの方、下記お問い合わせ先へご連絡ください！

お問い合わせ先



大阪鉄螺卸商協同組合

〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10 スミコー南船場ビル
TEL : 06-6271-4550 FAX : 06-6271-0514

提携代理店

株式会社東京海上日動パートナーズかんさい
大阪南支店 大阪南支社 営業担当：井上

〒541-0041 大阪市中央区北浜2-6-26 大阪グリーンビル4F
TEL : 06-4963-2813 FAX : 06-4963-2814